

H28年 日本RC模型グライダー協会（JRGA）理事会 議事録

日時：平成28年2月7日(日) 13:00～16:00

場所：東京都中央区京橋2丁目6番 東京都中央区京橋区民館（4号室）

参加者：橋本会長（大阪） 櫻井理事長（愛知） 藤田（岩手） 濱田（群馬） 宮川、山田（埼玉）、
加納、関根（東京） 児山、市村（神奈川） 柳本、星島（兵庫） 篠原（香川）
後藤（福岡） 計14名

議事：

1、橋本会長：挨拶

航空法の改正で手間は増えたがこれを良い意味のキッカケと捉えて、活動を中断していた方々や競技から遠ざかっている人達も誘いルールに沿った活動を活発化して頂きたい。
また、包括申請時にはピジターの登録についても考慮して頂きたい。

2、理事会開会宣言：櫻井理事長

理事総数18名中、出席14名、委任状提出2名。

過半数の理事承認により、本日の理事会は成立するとの開会宣言があった。

3、書記の選任：櫻井理事長が篠原理事を指名し承認された。

4、H27年決算報告：濱田理事、星島理事

会計担当の濱田理事より会計条項、監事の星島理事より監査結果について報告され、承認された。

5、報告・審議事項：各理事

（1）会員登録状況報告：篠原理事

- ・会費納入済 会員数はH28年1月31日時点で、172名（H27年は9名が新規加入）
現在有効会員は過去2年前までの会費納入者をカウントし会報送付対象者としている。
例えば2014年以降の会費未納の方は2016年からは休会扱いとしている。この時、
2015年11月頃以降で振込があった場合や振込用紙に2016年度分と記載があるものは
2016年会費として扱っているとの報告があった。

（2）航空法改正後の状況：児山理事、各理事意見交換

申請に関して

- ・JPN番号：申請にJPN番号が必要なのではなく、JPN番号があればJMAで認められた機体仕様に沿っている限り機体仕様書を個別に出さなくて良いということ。
- ・人口密集地：空港事務所と、本省の国土交通大臣宛てに個別に申請し、両方の許可が必要。
- ・訓練空域：空港事務所と、関連事務所（自衛隊、等）の許可が必要。
- ・空港進入路：滑走路延長線の約3Km以内は許可が出ないと想定。
「JRGAとして包括申請ができれば会員増のキッカケにもなる」との意見が出された。
その他、飛行場所、初心者に対する対応、等の意見交換がなされた。

(3) 世界選手権：児山理事

模型航空連盟グライダー委員会委員長として、F3B、F3K の 2016 年版 FAI ルール日本語訳を模型航空連盟 HP にアップしたことの報告があった。

本年 7 月下旬から F3J 世界選手権がスロベニアで開催され、日本チームとして天田政浩選手、川村周司選手、濱田博文選手および TM 児山氏が参加予定であるとの報告があった。

(4) H28 年 日本選手権他、各地の競技会日程の確認・調整（別紙）：全理事

日本選手権の日程を基本に、各地の競技会日程を調整した。

F3B 日本選手権における予選運営：篠原理事から来年度選手権での予選撤廃に対する提案があり検討を行った。JRGA の意見として来年度の F3B 選手権は試験的に予選を行わない案を児山理事に委託し、JMA グライダー委員会にて検討して頂くこととなった。

(5) 会費振込について：濱田理事

振込忘れや、事務手続きの手間を考え、できればクラブ単位で振込処理をして頂きたいとのお願いがあった。

(6) 各理事からの近況報告

航空法改正に伴う申請状況、新規会員やビジターで各地の飛行エリアを訪問する場合の扱い、若い世代の減少、等について意見交換がなされた。

6、次年度理事会開催予定

H29 年 2 月 5 日（日） 大阪府吹田市津雲台 あやめ保育園の予定

以上